



## ドクターTのひとりごと その55

障害のある人にも働く場を

皆さまは、「障害のある人を雇用する」ということについて、どのようにお考えですか。私は障害者の雇用について、日本理化学工業の大山会長の考え方に深い感銘を覚えています。同社はチョークの製造メーカーで、社員のうち7割以上が知的障害者のため、数字が苦手な人でも正確に分量・サイズを測れる道具の作製や作業時間を短縮する工夫をされています。今から50年以上も前に、会社近くの養護学校の先生が「もし就職しなければ、この子たちは卒業後、施設に入ることになります。そうなれば、一生“働く”ということを知らずに人生を終えることになるのです」と生徒の雇用を懇願された。当初は、2人を採用したが、会長は「施設に入って面倒を見てもらえば、今よりずっと楽に暮らせるのに、なぜ彼女たちは毎日工場へ働きに来るのだろうか?」と疑問を持っていたが、知人の住職が「人は仕事をして褒められ、人の役に立ち、必要とされるから幸せを感じることができる。だから、彼女たちはあんなに必死になって働こうとするのだ」と諭された。大山会長は普段から従業員たちに、「今日もよく頑張ったね、ありがとう」と声を掛けていたが、知的障害者の人たちは、特に心からうれしそうに顔をします。以来、経営者として「人に幸せを提供できるのは、福祉施設ではなく企業なのだ」という信念を持つようになったようです。そして、今の日本理化学工業があるのは、知的障害者の従業員たちが導いてくれたおかげだと語っておられます。私は、障害のある人も、就労を通じて社会に貢献する喜びを感じていただければと強く願っています。そのためには、受け皿としての「働く場」の確保が何より必要不可欠だと考えていますので、事業者の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 防災Q&A

災害時の心理

**Q** 災害などの危険が迫ってくると、「正常化の偏見」や「正常性バイアス」などと呼ばれる心理状態になることがあります。これは、どのような心理状態でしょう。

- ①危険性を正常に判断する心理状態
- ②危険性を認めようとしぬ心理状態
- ③危険性を大きく思い込む心理状態

**A** 「正常化の偏見」とは、目の前に危険が迫ってくるまで、その危険を認めようとしぬ人々の心理傾向です。都合よく危険を無視する心理を指します。加えて人間には多数の集団に合わせる習性があり、災害の危険が差し迫っても周りの人が逃げていないと自分も大丈夫だと思いがちになります。災害から命を守るためには、これらの心理・習性を理解して、周りの人を巻き込んで逃げる「率先避難者」の存在が必要といわれています。その代表例が東日本大震災で「釜石の奇跡」と呼ばれた岩手県釜石市での中学生の避難行動です。中学生が率先避難者となったことで、小・中学校の管理下にあった児童・生徒は一人も津波の犠牲になりませんでした。**正解は②** 《危機管理・防災課》



## 図書館だより

今月のおすすめ本

### 本当は怖いデスクワーク 佐々木さゆり

気が付いたらオフィスで1日座りっぱなしだった。なんてことはありませんか? シドニー大学の調査によると1日の座位時間が11時間を超えると死亡リスクが4時間未満に比べて40%も上昇。この死亡率は喫煙以上だそうです。長時間のデスクワークが高まる病気のリスクとその予防・改善法を紹介します。(東)



### 作家のお菓子

#### コロナブックス編集部

作家達の好物のお菓子とエピソードを紹介。酒よりあんこを愛した江戸川乱歩。空色のアイス「ガリガリ君」が好きだった水木しげる。あんパンへの思いはひとしおだったやなせたかし…。26人の甘い記憶と販売店のリストも掲載されています。表紙は谷崎潤一郎の好物です。(西)



▶詳しくは、東図書館 ☎62・0190  
西図書館 ☎75・5406へ。

### 国際交流員 孫亜南

#### ロマンチック大連 Vol. 5 (最終回)

1年間あっという間に過ぎました。光陰矢の如し。去年の4月、初めて舞鶴へ来たときのことでも色鮮やかに思い出されます。初めは全く知らない土地で仕事することに不安を覚えました。市民の皆さんに親切にいただいたおかげで不安は和らぎ、中国語講座や異文化理解講座、訪問団の案内と通訳、クルーズ客船の乗客のおもてなしなど、仕事も順調に進み充実した日々を送ることができました。

舞鶴は都会のけん騒から離れた静かで美しい所です。晴れた日の五老岳やアジサイ満開の自然文化園、紅葉の金剛院、雪化粧した赤れんがパークなど、舞鶴市内のさまざまな所に向き四季折々の景色を満喫しました。あと1か月で国際交流員としての役目を終えて大連に帰りますが、舞鶴で皆さんと一緒に過ごした日々はいつまでも忘れません。大連に帰ってから舞鶴の魅力は大連市民に伝え、両市の友好交流に貢献したいと思います。今年は大連市と舞鶴市が友好都市を締結して35周年を迎えます。ぜひこのコラムで紹介したロマンチックな大連を訪れてみてくださいね。皆さんと大連でお会いできることを楽しみにしています。



▲大連ではめったにない大雪! 写真を撮るためにたくさん撮りました。

《みなと振興・国際交流課》

それって思い込みじゃないですか?

友人とドライブをしていた時のことです。私たちの前に車が割り込んできました。突然のことに私も一瞬ヒヤリとしましたが、運転していた友人は私以上にびっくりしたのか「安全確認もしないで車線変更なんて、こんな運転をするのは女に違いない」と言ったのです。私は、友人の言葉に腹が立ち「確かめもしないでなぜそんなふうにするの。それって勝手な決めつけだよ!」と言い返しました。友人は私の剣幕に押されたのか、黙って苦笑いをしているだけでした。

とっさの言動や無意識になる言葉や態度には、その人の日頃の考え方や心の状態が表れると言います。この場合は「危ない運転をするのは女性だ」という思い込みが言葉に出てしまったといえるでしょう。私は、この出来事をきっかけに、自分自身の言動を少し意識するようになりました。すると、何気ない会話の中に思い込みや偏見がかなりあることに気付くようになりました。

私たちは、知らず知らずのうちに相手の一部分だ

けを見て、決めつけた発言をしてしまいがちです。例えば「男は仕事、女は家庭」などのような決めつけた発言は、昔から使われてきました。その他にも「子どもは、お年寄り」「ひとりっちは、末っ子は」といったことは今も使われているようです。

相手がどのような人物かと考える際に、私たちは性別や年齢、職業などのイメージから判断してしまうことがあります。それは、人間には思考の時間を省くために、無意識のうちに相手の特徴を類別に当てはめ、個性を無視して捉えるという傾向があるからだと思います。相手が持っている多様な面を理解しないままに、偏った評価をしているわけです。

冒頭の友人のように確かめもせず決めつけるのではなく、正しい情報あるいは真実に基づいて判断することが、一人ひとりの個性や特徴、その人らしさを認め、尊重することにつながります。普段から、思い込みやイメージからの見方や考え方をうのみにして物事を判断してはいないか、意識してみませんか。

《人権啓発推進室》



旬を迎えるいちごを使って「いちご大福」を作りました。レンジで簡単に作れて1人分のカロリーが100kcalと、とてもヘルシーなレシピ(1日のおやつ目安は大人1人あたり200kcalまで)。3時のおやつにぜひ作ってみてください。

【協力】はまなす会(市食生活改善推進員協議会)

- 材料**(10個)
- ◇白玉粉…100g
  - ◇水…150~170ml
  - ◇砂糖…80g
  - ◇こしあん…150g
  - ◇いちご…10個
  - ◇片栗粉…適量

### 一言メモ

生地を10等分にするときに熱い場合、キッチンハサミで切ると等分にしやすいです。生地がさめきらないうちに包まないとうまく包むことができなくなるので注意してください。レンジの種類によって加熱する時間が異なりますので、様子を見ながら加熱してください。

## いちご大福



1個分101kcal 塩分0g

### 作り方

- ①こしあんを10等分にして丸めておく。
- ②いちごを①で半分くらい見えるように包む。
- ③容器に白玉粉と砂糖を入れて、水を加えて泡だて器でよく混ぜる。
- ④③にラップをして電子レンジ(600W)で約2分加熱し、木べらでよく混ぜる。再度、電子レンジで約1分加熱しよく混ぜる。さらにつやや粘りが出るまで電子レンジで約30~60秒加熱しよく混ぜることを繰り返す。
- ⑤片栗粉を敷いたバットに移し④を10等分し、その生地を②を包んで形を整えれば完成。